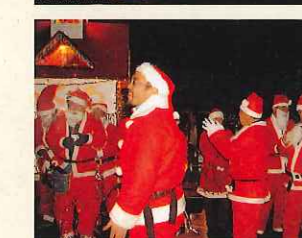
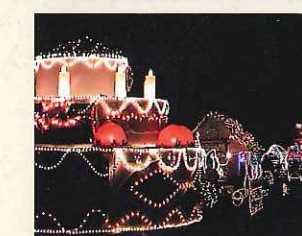




普段、泥に汚れたトラクターもこの日だけは、美しく光り輝く電球で飾り付けられ、昼間の風情がウソのようです。



昨年は総勢で約70人のサンタクロースがプレゼントを配って回りました。「楽しませてくれてありがとう」と参加者全員に手打ちうどんなどをふるまってくれるお宅もあるのだとか。



九州の宮崎にある『ひよっこ踊り』を自分たちでオリジナルの踊りにアレンジ。祝い事のあるお宅に押し掛けては踊りを披露する。これも福地の有志で始めた新しいイベントの一つです。

ふれあい
すぺーす
FUREAI SPACE

ライトアップしたトラクターが
山間のまちの聖夜を彩る
トラクターパレード

電飾を施した車にサンタクロース、まるで遊園地のアトラクションのようですが、実はこれ、八百津町福地のクリスマス風景なんです。車に見えるのは農機具の「トラクター」。

この「トラクターパレード」を行っている地元「福地W.Oさわがせ隊」にお話をうかがいました。

**ご縁のできた人に
楽しんでもらえればそれで良い。**

「見に来る方は年々増えてきているんじゃないでしょうか。でもそんなことはあまり関係ないんですよ。見せることが目的じゃなくて、僕たち自身が楽しみたいってやっているので。だから町の援助も受けられないし、広報もしない、それが僕たちの心意気なんです。今だけ、こっぴどい、あなただけ、ご縁のできた人が参加して、楽しんでくれればそれでいいんですよ。」

親戚、友人など、口コミで広がったトラクターパレードには、それでも隣の篠原や八百津地区をはじめ、東京、名古屋、九州などからの参加者があるのだそうです。

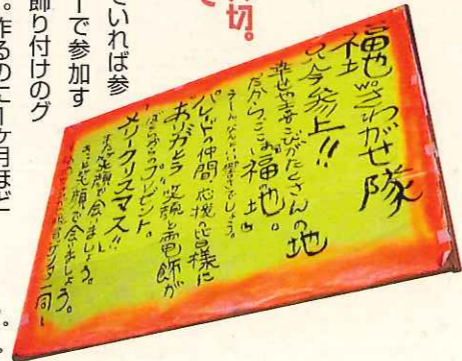
「フラットなことが大切。だから会長も代表も居ない。」

「1個でも電球が付いていれば参加できるルール。リヤカーで参加する人もいます。でも、年々飾り付けのグレードは上がっているみたい。作るのに1ヶ月ほどはかかるんですが、最後の数日は徹夜ですよ。だけど、作っている時が一番楽しいかな。どうですか、できましたか?」なんて近所を訪ねると「まあ、お酒でもうってことになる。そんな仲間どうしのつながりを感じる感じができますからね。」

「老若男女、みんなが「フラット」になつて楽しむことが大切」。だから福地W.Oさわがせ隊には会長も代表も居ないのだそうです。

ただ自分たちが楽しむためだけに自分たちの時間やお金を使う。そこには「祭」の原点のようなものを感じます。どうでしょうか、みなさんの地域でも、そこから新しい地元らしさが見つかるかも知れません。

1回目の開催時に書かれた「口上」。イベントに対する思いが伝わってきます。



国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>
メールアドレス shinmaru@cbr.mlit.go.jp

もしもしテレフォン
0574-43-2780(代)
新丸山ダムについてどんな事でもお気軽にお問い合わせください。

この情報誌は再生紙を使用しています。2005.10

M I Z U S H I R U B E
みずしるべ

国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所情報誌



●今号の表紙

木曾松など切り出した木材を筏に組み下流へと流す、八百津は鎌倉・室町時代より網場のある町として栄えていました。最近では、川と共にある地域の歴史を後世へと語り継ごうと筏を活かした町おこしが行われています。

2005
36

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選でプレゼント!

抽選で5名様 小さなため気軽に持ちこびできる 折りたたみパラソル



サイズ/25cm ※折りたたみサイズ
色の指定はいたしかねますのでご了承ください。

●応募締め切りは平成18年2月28日消印有効です。当選者の発表は発送にかえさせていただきます。

新丸山ダムホームページ/みずしるべQ&A アドレス

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/12-qa.html/>

みずしるべのアンケートでみなさんから寄せられた質問とその回答は、国土交通省新丸山ダム工事事務所ホームページにも掲載しています。上のアドレスにアクセスしてみてください。これからも、みなさんの質問にどんどんお答えしていきます。

郵便はがき

料金受取人払
八百津局 承認
40

5 0 5 0 3 9 0

(受取人) 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351

国土交通省 中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

みずしるべ36号 アンケート係 行

差出有効期間
平成18年2月28日まで
(切手は必要ありません)

氏名	性別	男・女
ペンネーム/ <small>※ペンネームでの掲載を希望される方のみ</small>		
住所		
TEL ()	年齢	才
職業(学校名)		



新丸山EMS通信

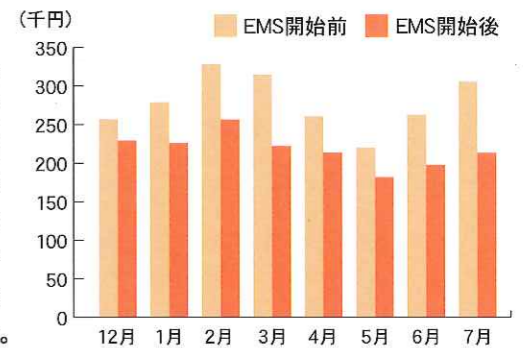
新丸山ダム工事事務所では、環境保全活動を継続的に実施していこうと『新丸山環境マネジメントシステム(新丸山EMS)』に平成16年11月26日より取り組んでいます。このコーナーでは、節電や再生紙利用などの事務活動だけでなく、ダム建設にかかわる業務や工事におよぶその取り組みの活動状況を報告していきます。今回は、事務活動の一部を取り上げました。

ダム建設事業における環境へのマイナス影響を最小限に抑えることを目的とした『新丸山環境マネジメントシステム(新丸山EMS)』

日常業務の省エネルギー、廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進、グリーン調達に努めています。

●電気料金の減少結果

室温管理やクールビズの励行により、節電に心掛けています。その結果、新丸山EMS開始後の平成16年12月から平成17年7月までの電気料金は、前年の同期間と比べて約20%削減することができました。



事務所周辺の清掃活動を行い地域とのコミュニケーションを図ります。

毎月第1火曜日に昼休みを利用して、事務所周辺の草取りやゴミ拾いを行っています。今後、地域の方々と一体となった活動に発展していければと考えています。



清掃活動の様子

次回は、事業活動に関する報告を予定しています。



新丸山ダムキャラクター しんまるくん

お寄せいただいたご質問・ご要望にお答します。

新丸山ダムにたいしてなげこコーナー

一般国道418号未開通区間の全線開通予定はいつ頃ですか。
恵那市/男性(52才)

一般国道418号の付替国道は、丸山ダム周辺より潮見地先(潮南センター)までの区間については、ダム本体着工(平成21年度予定)までに完成。それより東側の恵那市烏帽子地先までの区間はダム完成(平成28年度予定)までに完成させる予定で工事を進めています。

便利を考えると環境負荷は仕方ないことなのでしょうか。
御嵩町/女性(47才)

利便性だけを重視して、全く気にかけないのと環境意識をもって事業に取り組んでいくのでは、その結果は大きく異なるものだと考えています。この自然豊かな地域、風土にとけ込むようなダムを目指して、少しでも環境負荷を軽減するような建設を進めて行きたいと考えています。環境への取り組みは当広報誌や事務所ホームページでも随時紹介していますのでぜひご覧下さい。

新丸山ダム工事には夢があるようで、ぜひ訪れてみたいと思っています。見学会などがあれば幸いです
恵那市/女性(58才)

現在の丸山ダムや工事現場の見学会は、学校や婦人会など希望がございましたら、随時受付していますので一度ご連絡下さい。ご家族や少人数の場合は、11月13日に開催するイベント「新丸山ダムふれあい広場」でも見学会を行いますのでぜひご参加下さい。

みなさんのご意見をお寄せ下さい。ご意見の一部は誌面を通じてご回答いたします。本広報誌のアンケートハガキにご記入のうえお送り下さい。お待ちしております。

新丸山ダム Now&new

工事現場を見学できます。新旅足橋を見にきませんか。

新旅足橋 (仮称)

国道418号の付替道路の建設を進めています。
そのなかでも旅足川に架かる『新旅足橋(仮称)』は、とても大きな橋になります。
最新工法などを活用して、現在、建設が進められています。



最新工事状況【左岸】
(平成17年9月撮影)



最新工事状況【右岸】
(平成17年9月撮影)

特徴1 急峻な溪谷を渡る長大橋

急峻なV字溪谷を通過する新旅足橋(仮)は、橋長462m、橋脚の高さは約100m(25階のビルと同じくらいの高さ)にもおよぶ大きな橋です。

特徴2 環境にやさしい最新工法を採用

橋脚の基礎には、掘削範囲が最小限に抑えられ自然環境に与える影響も少ない『竹割り型構造物掘削工法』を用いています。また、傾斜地での作業に必要な作業構台も木の伐採を最小限に抑える工法で施工を行っています。



竹割り型構造物掘削工法



新丸山ダムの
事業概要や工事進捗状況は
ホームページでも
見ることができよう!

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>



●工事現場見学希望のご連絡先

新丸山ダム工事事務所工務課 / TEL.0574-43-4172

工事見学の受け付けはこちらまで!

地域みなさんに新旅足橋建設など新丸山ダム建設事業へのご理解・ご協力をいただくため、工事見学を受け付けています。見学を希望される方は下記までご連絡下さい。



新丸山ダム建設事業のもっと詳しい情報を知りたい方は、下記のアドレスまでアクセスしてください。

イベント1

第13回 新丸山ダムふれあい広場に遊びにおいでヨ!



昨年の会場風景

平成17年11月13日(日)、八百津町の産業文化祭にあわせて、新丸山ダム工事事務所敷地内にて『第13回 新丸山ダムふれあい広場』を開催します。

新丸山ダム建設事業をPRする『パネルコーナー』や『水の学習コーナー』、『ゲームコーナー』など、家族で楽しめるイベントを予定しています。

今回は、八百津町をはじめとする地元の方々を中心に活動している『丸山蘇水湖風土委員会』の方々と一緒に、「木曾川の水運の歴史と風土をめぐると題して、現地見学会(エクスカーション)を実施します。

舟運で栄えた八百津町の往時を風土委員の解説を受けながら黒瀬湊や丸山ダムなどの史跡を約2時間かけて巡ります。現地見学会への参加申し込みおよび、イベントの詳細については右記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

ご参加いただいた方々とのふれあいを通じて、一緒に楽しいひとときが過ごせますよう、職員一同ご来場を心からお待ちしております。

●現地見学会(エクスカーション)

開催時間 / 第1回 10:00~12:00
第2回 13:00~15:00
午前と午後1回ずつの開催を予定しています。

定員 / 1回20名(合計40名)

参加費 / 無料

申込方法 / 事前の申込が必要です。

下記の申込先まで電話でお申し込み下さい。
先着順に受け付け、定員になりしだい締切らせていただきます。

申込先 / 新丸山ダム工事事務所調査設計課
TEL.0574-43-4173

お問い合わせ先 新丸山ダム工事事務所調査設計課
TEL.0574-43-4173
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>

イベント2

蘇水峡川まつりに参加しました。

平成17年8月7日(日)、八百津町が開催しました『蘇水峡川まつり』に、『新丸山ダムふれあいコーナー』を設置し、新丸山ダム工事事務所の職員も参加しました。『パネルコーナー』や『風船コーナー』、『輪投げコーナー』、『記念ハガキコーナー』などのコーナーに、たくさんの方々に参加してくださいました。

特に『輪投げコーナー』は大人気! しんまるくんが描かれた輪投げ台に向かって輪を投げる表情は大人も子供も真剣そのもの。会場はおおいに盛り上がり、何度も挑戦する子供たちも続出で、狭いブース内は熱気と活気で溢れていました。



輪投げコーナー

パネルコーナー

イベント3

水しぶきを上げ悪戦苦闘! 竹イカダレースに挑戦しました。

『蘇水峡川まつり』と同日に、八百津町を流れる木曾川で、町内外から訪れた約100名が参加した『第1回竹イカダレース大会』が開催されました。

当事務所もこのイベントに協賛し、2チームがレースにエントリーしました。レースは木曾川河畔に繁茂している竹を活用した全長4m、幅1.8mの大きさのイカダに4名が乗りこみ、竹竿で漕ぎながら250mを競うというもの。水しぶき上げながらも思うようにはなかなか進まない竹イカダにどのチームも悪戦苦闘の様子でした。

八百津町とイカダ下りの関わりは古く、木曾谷で切り出された木材を町内の錦織網場でイカダに組み、下流へと流送していました。また、伊勢神宮遷宮の御用材も運ばれるなど、八百津町はイカダと共に繁栄した歴史をもちます。この第1回竹イカダレースは、そのイカダ下りの歴史を後世に語り継ぐとともに、同町の活性化に繋がることを期待して開催されたものです。大会に先立ち、八百津町のボランティアグループ「がんばるまい八百津」によってイカダが復元され、7月24日には旧八百津発電所資料館において完成式典が行われました。その復元されたイカダは同資料館に常時展示されています。

1回目の好評を受けて、すでに来年の開催を期待されている竹イカダレース。すでに冬の間には次回に使用する竹の切り出しが始まり、第2回の開催に向けて準備が行われます。



竹イカダレースの様子



復元されたイカダ

